

## 企業アンケート結果（有効回答数：21）

### 1 地下水を利用する理由【複数回答可】

No.	回答内容	回答数	割合
1	水道水に比べコストが安い	17	50.0%
2	水道水ほどの水質を求めているため	6	17.6%
3	水道水の断水など不測の事態に備えるため	3	8.8%
4	地下水の水質が優れているため	3	8.8%
5	その他(水道接続に多額の費用がかかるため、既存の井戸があったため)	5	14.7%
合計		34	100.0%

### 2 地下水の利用に関する課題やリスク【複数回答可】

No.	回答内容	回答数	割合
1	ポンプ等の故障や老朽化	15	23.4%
2	地下水の水質悪化や汚濁	14	21.9%
3	地下水の枯渇や不足	13	20.3%
4	災害発生時のポンプ等の停止	10	15.6%
5	ポンプ等の維持管理費用の増加	7	10.9%
6	地下水利用に関する規制制度の変更	4	6.3%
7	その他	1	1.6%
8	課題やリスクはない	0	0.0%
合計		64	100%

### 3 地下水から水道水への切り替えの検討

No.	回答内容	回答数	割合
1	検討しておらず、今後もその余地はない	12	57.1%
2	今は検討していないが、条件によっては検討の余地がある	5	23.8%
3	今後検討の余地がある	4	19.0%
4	切り替えを検討している	0	0.0%
合計		21	100.0%

### 4 地下水利用施設の導入費用(回答数:9)

A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社
200~300万円	316万円	321万円	734万円	1,600万円	2,900万円	4,300万円	1億1,900万円	1億8,000万円

### 5 このほか、地下水利用施設の維持管理費用、地下水の使用用途等を調査

#### アンケート結果のまとめ

- ・地下水の枯渇や水質悪化、ポンプ等の故障や老朽化に課題を抱えながらも、水道水に比べコストが安いことなどを理由に地下水を選択している
- ・多額の費用を投資しているため、大幅な水道水への切り替えを実施するとなると地下水利用施設の更新時期になると推測される(一般的な機械・設備機器の耐用年数は15~20年と言われているが、修繕の実施等によりさらに長期間の使用が可能であると推測される)

## 水道事業体アンケート結果(有効回答数:17)

### 1 制度の導入目的【複数回答可】

制度の目的		水道使用量を 増加させるもの	水道使用量の 減少を抑止するもの	その他	回答数	割合
1	地下水から水道水への転換促進	○			9	39.1%
2	水道水から地下水への転換抑止		○		6	26.1%
3	新規水道利用者の水道水利用促進(地下水利用抑止)	○			3	13.0%
4	大口使用者の水消費意欲を刺激し、使用量の減少に歯止めをかけるため		○		1	4.3%
5	浄水施設能力の有効活用	○			1	4.3%
6	町企業立地促進との連携	○			1	4.3%
7	料金が用途別から口径別に制度変更となったときの負担軽減策(この制度変更により、工業用、営業用の多量使用者の料金が割高となるために設けられた制度)			○	1	4.3%
8	月20,000m <sup>3</sup> 以上の使用者に対する軽減措置			○	1	4.3%
合計					23	100.0%

## 2 適用期間・更新・基準水量の見直し

分類	適用期間	更新	基準水量の見直し	回答数	割合	
A	定めなし	—	見直しなし	4	23.5%	
B	1年間	更新可	見直しなし	5	29.4%	
C			見直しあり(1年ごと)	3	17.6%	
D			見直しあり(3年ごと)	1	5.9%	
E			5年間(水道水の使用水量が基準水量の2倍を超えた場合はさらに5年間の延長ができる)	見直しあり(5年ごと)	1	5.9%
F			7年間	見直しあり(7年ごと)	1	5.9%
G	4年間	更新不可	見直しなし	1	5.9%	
H	令和9年3月31日まで(平成29年4月1日の制度開始から10年後まで)		見直しなし	1	5.9%	
合計				17	100.0%	

### 3 特例料金単価と割引率

No.	通常単価	特例料金単価	割引率					備考
1	335円	266円	-20.6%					
2	310円	220円	-29.0%					
3	329円	230.3円、164.5円、98.7円	-30.0%	-50.0%	-70.0%			水量増に伴い割引率が増加
4	394円、436円	236.4円、261.6円	-40.0%					
5	385円	230円	-40.3%					
6	67円、180円、190円 200円、240円	36.85円、90円、95円 100円、132円	-45.0%					
7	220円	120円、80円、40円	-45.5%	-63.6%	-81.8%			水量増に伴い割引率が増加
8	310円	160円	-48.4%					
9	155円	80円	-48.4%					
10	239円	120円	-49.8%					
11	295円、355円、375円 410円、430円	147.5円、177.5円、187.5円 205円、215円	-50.0%					
12	230円	115円、40円	-50.0%	-82.6%				水量増に伴い割引率が増加
13	293円	146.5円、0円	-50.0%	-100.0%				1年目：100%免除 2～4年目：50%免除
14	247円	123円	-50.2%					
15	141円、152円、162円 173円、183円	67円	-52.5%	-55.9%	-58.6%	-61.3%	-63.4%	
16	216円	70円	-67.6%					
17	308円	69円	-77.6%					
				30%未満	50%以上70%未満			
				30%以上50%未満	70%以上			

#### 4 特例料金設定水準

No.	料金設定水準	回答数	割合
1	給水原価を下回らないように設定した	4	23.5%
2	単価の1/2を減額	2	11.8%
3	他市の単価・事例などを参考に設定した	2	11.8%
4	単価の1/3を減額	1	5.9%
5	他の制度の減免率(民間社会福祉施設で40%減免を適用)に配慮して40%減免とした	1	5.9%
6	従量料金が逓増制となっているが、逓増制とはせず最低単価を採用した	1	5.9%
7	他市の状況と市の供給単価等を考慮し設定した	1	5.9%
8	算定期間の給水原価から資本関係費用(減価償却費・資産減耗費・支払利息)を除いた額	1	5.9%
9	維持管理費、資産維持費、変動費の合計(使用水量に応じて発生する経費のみ)から従量単価を設定した	1	5.9%
10	料金が用途別から口径別に転換した際に割高とならないように設定した	1	5.9%
11	未回答のため不明	2	11.8%
合計		17	100.0%